

# はばたき

2014 秋号 第35号[通巻第146号] 平成26年10月発行[季刊]

編集・発行／佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)  
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp  
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp>

はばたき第35号 ● もくじ

- ①南館オープンにともなう診療科移動のお知らせ
- ①新任Dr.の紹介
- ②本年も大規模災害訓練をおこないました。
- ③白十字会グループ合同慰霊祭
- ③病院こども探検隊を開催して
- ④ユニフォーム紹介
- ⑤部署別資格紹介「リハビリテーション部」
- ⑥最新!!医療機器
- ⑦病院のお仕事紹介「施設課」
- ⑧患者さんの声～ご意見箱より～
- ⑨外来診療担当表



大規模災害訓練  
(関連記事は4ページ)

## 基本理念

患者さんが一日も早く社会に復帰されることを願います。

## 基本方針

- 1. 患者さんの権利を尊重し、患者さん中心の快適な療養環境を提供いたします。
- 1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
- 1. 職員の総和をもって、納得の医療を推進し、患者さんから信頼され、愛される病院を作ります。
- 1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
- 1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
- 1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

## 医療を受ける人の権利と義務

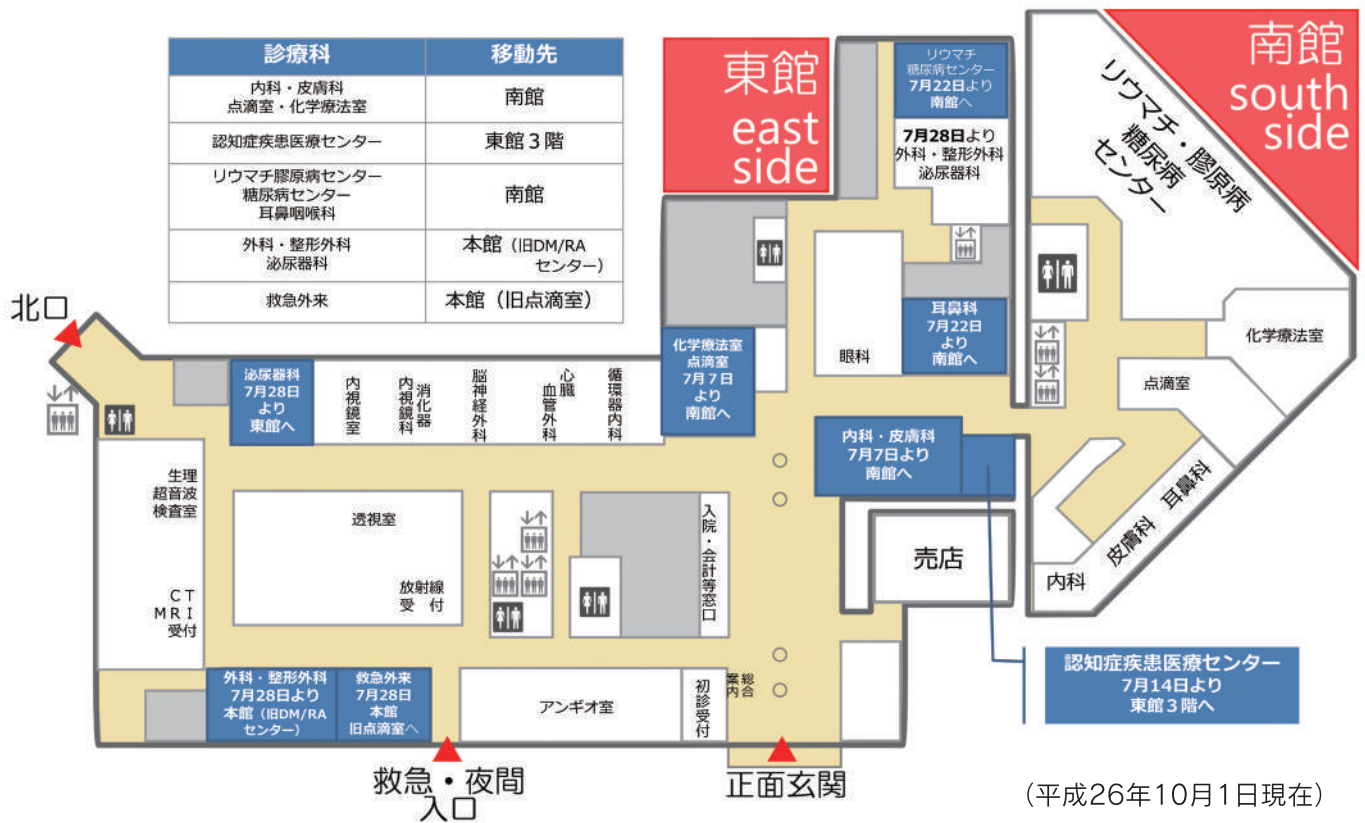
- 1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
- 2. 自身の病状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
- 3. 医療者の提案する診療計画を自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
- 4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
- 5. 他施設の医師に相談することができる。(セカンドオピニオン権)
- 6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
- 7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)



# 南館オープンにともなう診療科移動のお知らせ

なお本館の改修工事終了後は再度診療科の移動がございます。

工事終了後、あらためてご案内いたします。(工事終了は2015年6月を予定しております)



## 新任Dr.の紹介

①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局 ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

Ⓐ医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？ Ⓑ趣味、または特技を教えてください。Ⓒ自己PRをお願いします。 Ⓓ最後に患者様へ何か一言お願い致します。



ふくもと ひろのり  
福本 博順 Dr.

- ① 脳神経外科(常勤)
- ② 福岡大学
- ③ 平成24年
- ④ 福岡大学脳神経外科
- ⑤ 日本脳神経外科学会  
日本脳神経血管内治療学会

- Ⓐ医師である両親に憧れて。  
救急、手術、血管内治療、慢性期とは幅広い選択肢のある科だから。
- Ⓑテニス
- Ⓒ体力、気力で頑張ります。
- Ⓓ新米ですが、皆様のお役に立てるように頑張ります。

かしま ゆきお  
加島 志郎 Dr.

- ① 病理(非常勤)
- ② 富山大学
- ③ 平成23年
- ④ 長崎大学病院病理診断科

- Ⓐサラリーマン生活を送っていたが、人生をやり直そうと思い医師を志した。学生時代に会った先生の導きで病理を選んだ。
- Ⓑ旅行、映画鑑賞
- Ⓒ人生経験は、一応豊富です。
- Ⓓ病気のことについて一緒に考えていけたらいいですね。

やまさき まきこ  
山崎 真希子 Dr.

- ① 病理(非常勤)
- ② 佐賀大学
- ③ 平成22年
- ④ 佐賀大学病因病態科学講座

- Ⓐ医学に興味があったから。学生時代に講義がおもしろいと思ったから。
- Ⓑドライブ
- Ⓒ病理は楽しいです。
- Ⓓ直接、接することはありませんが丁寧な診断を心掛けています。

## 本年も大規模災害訓練をおこないました。～訓練参加者の感想より～

9月11日、病院をあげての大規模災害発生時の対応訓練を行いました。

付近の西九州自動車道トンネル内での多重衝突事故で100名規模の負傷者が出たと想定し、受け入れ対応訓練を行いました。

医師、看護師はもとより、院内の多職種が連携、協力し受け入れ対応を行い、トリアージから始めて、重症度に応じた患者の搬送や診療、来院から帰宅・入院に至るまでの情報伝達等、本番さながらの訓練で皆真剣に取り組みました。

今回は佐世保市消防局のご協力もいただき、例年以上にリアリティのある訓練を行うことができました。

訓練を通して、もし実際に起こったら、訓練の数倍もシリアスな場面に遭遇するであろうことを実感し、いざという時に備え、日ごろの心構えの重要性を再度認識いたしました。



## 白十字会グループ合同慰霊祭

平成26年9月6日にアルカスSASEBO中ホールにおいて白十字会グループ合同慰霊祭を執り行いました。平成25年6月から平成26年5月までの1年間に亡くなられた方は、当法人グループ全体で560名いらっしゃいました。そのご遺族の皆様へご案内申し上げましたところ、170名の方にご参列いただきました。故人に思いを馳せながら献花を行った後、佐世保市民管弦楽団による献奏、カトリック浅子教会の岩下神父様による講話があり、時折涙ぐみながら聞き入る方もいらっしゃいました。

今後の医療の発展のため献体にご協力いただいた故人ならびにご遺族の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、心よりお悔やみ申し上げます。

総務室 松尾一賢



## 病院子ども探検隊を開催して

リハビリテーション部 理学療法士 岡亮平



7月29日(火)に「病院子ども探検隊」を開催いたしました。このイベントは夏休み期間中の小学生に病院での仕事を見学・体験を通じて学んでもらうことを目的として実施しております。毎年開催しており、おかげさまで6回目を迎えました。今回は29名の児童にご参加いただきました。

イベントの内容は、感染管理認定看護師による手洗い方法の講義の後、手洗いチェッカーを使っての洗い残しの確認を行いました。普段の手洗いでは洗い残してしまう場所を確認し、手洗いの重要性を再認識できたのではないかと思います。次に最大の目玉、手術室での電気メス、内視鏡の疑似体験を行いました。心臓血管外科の医師からの直接指導も受けました。リハビリ室では片麻痺患者さんの疑似体験、利き手交換、とろみ水の試飲を行い、健康増進センターでは臨床検査技師によるエコー体験を行いました。最後に碓病院長から修了証が手渡され、予定通り無事に終了となりました。子ども達には実際に体験することで病院の仕事を知るとともに、病気を持った方の気持ちを理解する良い機会になったのではないかと思います。この経験が良い思い出となり、医療に関わる仕事を指すきっかけとなれば幸いです。来年も今年同様、多数のご参加をお待ちしております。

# 新しいユニフォームになりました!!

~各部の新ユニフォームを紹介します。~

各部気持ちもあらたに業務に励んでいます。

どうぞお気軽にお声かけください。



看護部



事務部



リハビリテーション部



臨床工学部



認知症疾患医療センター

## 日本糖尿病療養指導士



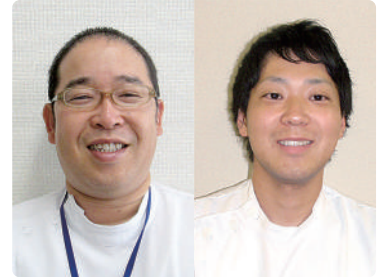
糖尿病治療に大切な自己管理を患者さんに指導する医療スタッフです。高度で幅広い専門知識を持ち、患者さんの糖尿病セルフケア（食事、運動、薬物療法等）を支援します。糖尿病における生活指導の達人です。

## 認定言語聴覚士(摂食・嚥下)



様々な病気により飲んだり、食べたりすることが難しくなることがあります。そのような方に対し専門的かつ高度な援助を行い、またそれに関わる人達に適切な情報を提供していきます。

## AKA博田法



AKA博田法は関節面の動きを改善することで関節の痛みを軽くし、歩行や動作を楽に出来るようにする技術です。当院には厳しい試験に合格した指導者助手と認定療法士1名ずつが在籍しています。

## AMPS



AMPSとは15万人以上のデータに基づき国際的に標準化された日常生活動作、家事動作を分析する評価法です。対象者の治療計画や退院支援に対して用いられます。5日間の講習と10症例の評価データを提出することで評価資格が与えられます。

## 認定理学療法士(呼吸)



呼吸の認定理学療法士としては全国で約100名が活躍しております。呼吸リハビリの全般を学習しており患者さんの呼吸苦を軽減しよりよい在宅生活を支援することができます。

## 認定理学療法士(脳卒中)



脳卒中は、生命が助かってもしさまざまな障害が後遺症として残ってしまうことが多い疾患です。その為、脳機能やアプローチについて学び、後遺症が残った患者さんを支援していく事を目的とした資格となっています。

## 呼吸療法認定士



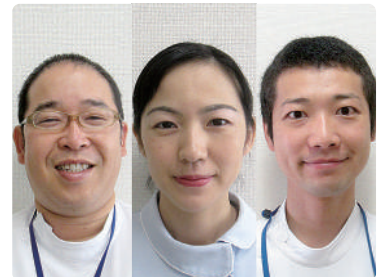
3学会合同呼吸療法認定士は、呼吸管理を行う医療チームの構成要員を養成し、吸入療法、酸素療法、呼吸理学療法、及び人工呼吸などの呼吸療法に精通した医療要員の事です。現在、当院リハビリテーション部には5名の認定士が在籍しています。

## 認定理学療法士(循環)



主に心疾患に関する高度な専門知識と技術を持って業務を行う理学療法士に与えられます。この資格は、全国で約60名の理学療法士が持っており臨床業務を行っています。

## 心臓リハビリテーション指導士



心臓リハビリテーション指導士は、日本心臓リハビリテーション学会が認める資格制度です。心臓病の患者さんに対して、運動療法だけでなく生活習慣の改善・栄養指導・服薬管理・精神的サポートなどを含めた包括的なリハビリテーションを行っています。

# 最新!! 医療機器

## 関節鏡のご紹介

整形外科 部長 北原 博之

関節鏡とは胃カメラのように細い管の先にレンズとライトがついたもので、これで関節内の治療をします。通常の手術のように患部を大きく切開する必要がないため、負担が少ないのが特徴です。関節鏡の直径は約5mmで映像はハイビジョンモニターに数十倍の大きさに拡大され映し出されます。鮮明で拡大された映像を見ながら手術ができるため切開手術よりも精密な手術が可能です。

対象となる関節は膝、肩、肘、足の関節です

膝関節で代表的な疾患はスポーツ障害などによる半月板断裂や前十字靭帯断裂の治療です(図1、2)。

小さな傷で手術ができるため出血や痛みが少なく、筋肉を傷めないのが早期にスポーツや仕事に復帰できることがメリットです

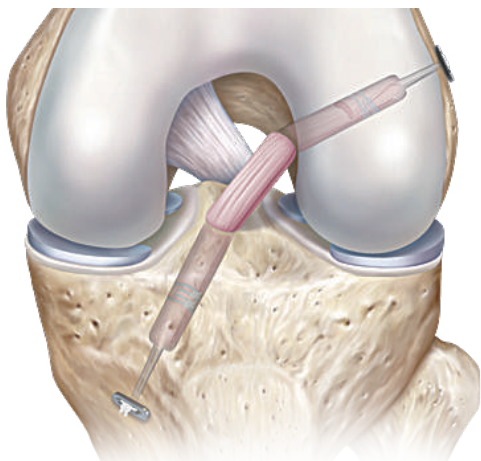


図1 関節鏡を使用して行われる膝前十字靭帯手術例

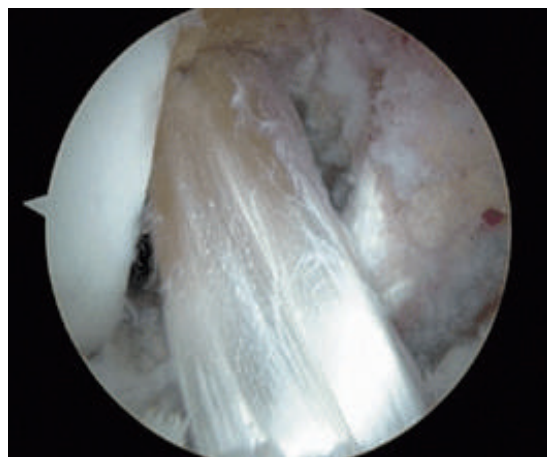


図2 移植した靭帯を関節鏡で見たところ

肩関節は従来、大きな切開を要し、筋肉へのダメージが大きい手術でしたが、近年は機器の進歩で、ほとんどの手術が関節鏡で可能になりました。代表的な疾患は転倒による腱板断裂(図3、4)や反復性脱臼などです。

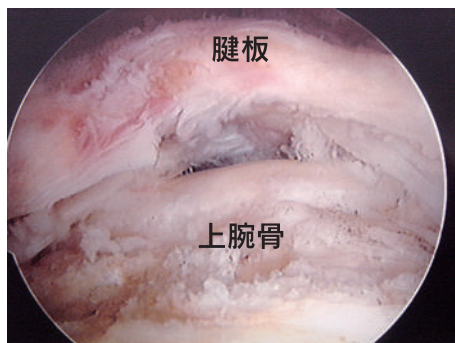


図3 腱板断裂の関節鏡所見  
上腕骨から腱板が剥がれている

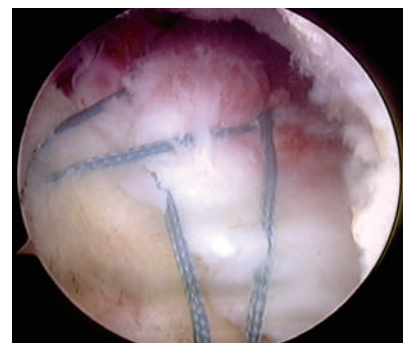


図4 手術後 腱板が骨と接合されている

### ○施設課の役割○

患者さん、また病院で活動する全ての方に安全で快適な環境を提供するために建物、設備のメンテナンスとマネージメントをサポートしている部署が施設課です。単純に修理・更新をするのではなく、病院全体の中長期にわたる経費対効果を考慮した、適切な修繕計画の策定も行っております。

また東日本大震災以降、災害拠点病院としての維持機能が重要さを増しております。大規模な停電、断水の発生時にも機能出来るような自家発電機新設による非常電源の確保や機械の導入など積極的に取り組んでいるところです。

設備管理の他に電気、重油、ガス等のエネルギー管理を行い、省資源と二酸化炭素の排出削減にも取り組んでいます。

また、車輛の運転管理も車両管理室を中心に行っております。

### ■主な業務内容

#### ○中央管理室○

1. 設備機器の維持・保安全管理故障や機能不全となった機器の修理及び修理手配や定期・不定期のメンテナンスを行っています。
2. 外部環境の保安全管理  
除草作業などを行っています。
3. エネルギー・資源の効率運用  
適切な温度管理による空調機器の効率運転、インバーター機器の導入  
照明の消灯や低消費電力型への更新など省エネを意識した運用に取り組んでいます。

#### ○車両管理室○

1. マイクロバスにて白十字会関連病院、施設への利用者の送迎、また資材の配送及び大学病院等へ教授、Drの送迎を安全第一を目標にして努めて運営しております。







## 18歳以下の方の面会制限について

『どうして18歳以下は病室に入れないのですか?』というお尋ねがありましたのでご説明いたします。

学校など集団生活をする場所においていろいろな感染症(インフルエンザやノロウイルス、はしかやおたふくかぜや風疹やみずぼうそうなどのウイルス性疾患)が発生しやすく、集団発生につながることは珍しいことではありません。

これらの感染症は、感染しても症状を自覚する前から人にうつすという特徴を持っていることが多く、そのため体調が悪い人の面会を制限することは当然ですが、それだけでは病気の患者さんへの感染を防ぐことはできません。

入院患者様の中には、病気が重い方もおられます。もともとの病気に加えて、弱っている時に、このような感染症をうつされると、場合によっては命に関わることもあります。また、このような感染症は近くに行かなくても、空気をただよって、遠くの人にうつっていくものもあります。そのため、原則的に学校生活などで集団生活をする機会が多い18歳以下の方のお見舞いはご遠慮いただいております。諸事情により、一緒にこられた場合は面会ルームで待機していただくようお願いしております。(面会ルームでの面会は可能です。)

大事なご家族に一日も早く元気で退院していただくために行っていることです。今後も、ご理解をいただけますよう、丁寧な説明、対応を心がけて参ります。皆様の、ご協力をお願い申し上げます。

病院長 碓 秀樹

## 「南館増築・本館改修」に関するご意見について

「内科受診をしているが、改修前よりも患者の流れ動きが面倒になり、困っている。以前の状態が良い」とのご意見をいただきました。

南館増築・本館改修につきましては、大変ご迷惑をおかけいたしておりますが、診療科の拡充や、救急機能の拡大など病院機能の拡充に伴い実施しているものでございます。

内科など本館から増築棟へ移動した診療科におきましては、各種検査を受ける場所や、正面玄関・受付会計などから導線上距離ができてしまう形になり、ご指摘のような状態になりますが、新装した各診療科でこれまで以上に充実した診療を行い、患者さんの治療という部分で最大限に貢献していきたいと考えております。

ご不便、ご迷惑をおかけいたしますが、なにとぞご理解・ご協力の程をお願い申し上げます。

病院長 碓 秀樹

# 外来診療担当表

全診療科予約制

平成26年 10月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		副島		副島 (新患・紹介のみ)		小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		森(篤)						森(篤)	林(非・再)	林(非・再)	
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再)		竹尾		中村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患			岩本・一瀬 (長崎大学担当医)		植木				荒牧	
		再来	植木		岩本	岩本	福田	寺田	荒牧		寺田	
糖尿病 センター	新患	森(良)				二里		二里		松本		
	再来	松本(-)・二里		松本(-)・二里		森(良)・松本		松本(-)・森(良)		森(良)・二里		
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾(功)		木崎		矢野(非)		
	再来	赤司		中尾(功)・本田(矢野(非))		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	加茂		松崎	富永(再)・竹島(非・隔週)	小田	磯本(非・隔週)	小田		松本(耕)		
	(肝胆膵)	草場		木下		松崎		加茂		木下・松本		
人工透析センター		森(篤)・林	森(篤)・林	森(篤)	森(篤)	森(篤)・林	森(篤)・林	森(篤)	森(篤)	森(篤)・林	森(篤)・林	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	重政	※	佐々木・高村	※	
	再来	碓				菅村(非)		濱田		碓		
	特別顧問外来	國崎		菅村(非)		梶原						
整形外科 (新患・紹介のみ)	北原		宮原		北原		宮原		北原 (第1,3,5週) 宮原 (第2,4週)			
脳神経外科	阪元	※	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※	
	竹本					衛藤(非)				竹本		
心臓血管外科	※	※	柴田	※	※	※	※	柴田	※	※		
皮膚科	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※		
	山田	循環器外来 (第1,第3,第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田		アレルギー外来 (山田) (第4週休診)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診		
小児科	犬塚	心身症外来 (第2,第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚	生活習慣病外来 (隔週)		
	泌尿器科	徳永	※	※	徳永		※	※	徳永	※		
眼科	新患	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
耳鼻咽喉科	大里	※	大里	※	大里	大里	大里	※	大里	※		
放射線科	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	
放射線治療計画					山崎	山崎						
救急総合 診療部	内科系	本田・永松	二里	森(良)	担当医	加茂	松本(耕)	赤司・本田	荒牧	福田	小林	
	外科系	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手		井手(再)		
専門外来	インターフェロン(新患・紹介のみ)	木下 14:00~16:00		ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00		乳腺 碓 14:00~17:00	CAPD 林和 (4週1度再診) 14:00~15:00	下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00	乳腺 佐々木 13:30~16:30			
	ペースメーカー	木崎・中尾 第2・第4月曜日 14:00~16:00		禁煙 菅村 第2・4火曜日 13:30~15:30							睡眠 近藤 隔週 13:00~16:00	
緩和医療		國崎(非)				國崎(非)						
健康増進センター		寺園・本多 田中・橋迫 (交互隔週)		寺園・本多		寺園		中尾		中尾		
乳がん検診		佐々木		野々下		本多・板倉		寺園・本多・板倉		寺園		
健診婦人科(特別顧問外来)		石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸		

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00

(専門外来・紹介のみ)

(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 \* :当番医 (非):非常勤 (再):再診  
※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)